

## 2010 年度報告書（研究員）

氏 名	平井 芽阿里
職 位	GCOE 研究員
<p>研究概要</p> <p>本研究の目的は、沖縄県から名古屋市へ移住した沖縄県出身者の「沖縄的实践」について文化人類学的に考察することである。この「沖縄的实践」とは、県外で十数年以上生活しながらも家庭では沖縄特有の神を沖縄の線香と酒を使用して祀る事などを示す。また、地元では島ごとに異なるアイデンティティを色濃く保持しながらも、県外ではそれまで全く経験のない沖縄本島を中心に行う民俗芸能を「沖縄人」として実践するといった事例を含む。従来沖縄県出身者が結成する種々の芸能団体等はコミュニティやエスニック・グループと捉えられる傾向にあったが、一つの集団に表象される「沖縄」は、必ずしも一様ではない点を指摘できる。この「沖縄」には島ごとの島嶼的差異や、「沖縄料理店」は A 氏が、「伝統的念仏踊り（エイサー）」は B 氏が開始したというような、多元的視点が欠けている。さらに、県外で日常的に実践される民俗宗教を故郷との関わりで捉えた事例の報告もほとんどない。そのため、本研究では、愛知県における沖縄県出身者を対象とし、「沖縄」と表象されてきたコミュニティに所属する個人が家庭内で実践する民俗宗教を多元的に捉え直し、故郷との連帯も視野に入れた文化人類学的考察を行うことを目的とした。</p> <p>まず 2010 年 6 月から 2011 年 1 月にかけて「名古屋沖縄情報センター」で毎月開催される「愛知の沖縄調査会」に調査員として参加し、愛知県在住の沖縄県出身者が結成する団体および経営する飲食店に関する調査を行った。次に、沖縄県出身者が各家庭で個人的に祀る神々と儀礼に関する調査を、10 月には名古屋市港区で開催された「毛遊び」の参与観察を行い、11 月 19 日から 24 日にかけては、沖縄本島、宮古諸島地域において、愛知県在住の沖縄県出身者が参加する島の宗教儀礼に関する調査を行った。成果は以下の業績リストおよび成果論文に詳しい。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>【論文】</p> <p>2010 「愛知のなかに見る沖縄社会－神々との海を越えた繋がり－」『アリーナ』9 風媒社  2010 「神々の聖なる森」『愛知沖縄県人会連合会会報』24 愛知沖縄県人会連合会  2010 「台所の守り神」『愛知沖縄県人会連合会会報』25 愛知沖縄県人会連合会  2010 「子どもと神様」『愛知沖縄県人会連合会会報』26 愛知沖縄県人会連合会</p> <p>【報告】</p> <p>「愛知の沖縄系コミュニティ」日本民俗学会、於東北大学、2010 年 10 月  「愛知県の火の神について」加藤秀俊「知識」と「社会」研究会、於中部大学、2011 年 1 月  「名古屋市における沖縄系出身者の「沖縄的实践」に関する文化人類学的考察」京都大学グローバル COE 成果報告会、2011 年 2 月</p>	